後期実施計画（令和３年度～令和７年度）　施策評価シート

１．基本情報

基本目標	1	みんなで支え合い、未来につなぐまちづくり	担当部	福祉保健部
基本施策	2	地域連携による生涯を通じた健康づくりの推進		
単位施策名称	1	ライフステージに応じた健康づくりの支援		
施策の方向性	●笑顔があふれ、健康で生きがいをもって過ごせるよう、高齢者の社会参加を推進します。 ●乳児期から高齢期までの生涯にわたり、口腔疾病の予防を図るとともに、生活習慣病の予防に取り組みます。 ●「第２次府中町健康増進計画・食育推進計画」に沿って、すべての世代において、心と体の健康づくりの充実を図るため、住民、関係団体・機関と連携を図りながら、より良く生きるライフスタイルを推進します。 ●妊娠・出産・育児を通じた乳幼児の発育・発達の早期支援や相談体制の充実を図ります。 ●国民健康保険制度の周知及び医療費の適正化に向けた啓発を推進します。 ●住民・関係団体・行政等が連携・協働して、自殺対策を推進します。		

２．施策目標（施策指標）

No.	目標指標	単位	区分	計画策定時の状況	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
1	健康だと感じる人の割合	%	目標値		78.2	78.4	78.6	78.8	79.0
			実績値	53.3	63.8	78.0	78.0	78.9	77.1
			達成状況		未達成	未達成	未達成	達成	未達成
2			目標値						
			実績値						
			達成状況						
3			目標値						
			実績値						
			達成状況						

３．評価と対応方針（各部評価）

・分析

（施策目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

R3	目標数値は、健康マイレージのポイントカードのアンケートを集計していますが、アンケートがわかりにくいこともあり、毎年度目標は未達成となっています。アンケート用紙や方法の見直しと健康事業の普及に努めます。
R4	健康マイレージのアプリによるアンケート集計に変更したため、アンケートがわかりやすくなり、実績値は伸びましたが、目標は未達成となりました。アプリの普及に努め、健康事業の継続化を進めます。
R5	健康マイレージのアプリによるアンケート集計に変更したため、アンケートがわかりやすくなり、実績値は低下していませんが、目標は未達成となりました。アプリの普及に努め、健康事業の継続化を進めます。
R6	健康マイレージのアプリによるアンケート集計に変更したため、アンケートがわかりやすくなり、目標達成となりました。引き続きアプリの普及に努め、健康事業の継続化を進めます。
R7	健康だと感じる人の割合は、対前年度1.8ポイント減少するとともに、施策目標は未達成となりました。期間内において、4か年が未達成という芳しくない結果となりました。

・評価及び対応方針

R3	健康マイレージのアプリ化やポイント付与の見直しなど、健康事業の継続化を図り、目標達成に努めます。
R4	
R5	健康マイレージをアプリ化し、ポイント付与も見直しました。引き続き、健康事業の継続化を図り、目標達成に努めます。
R6	
R7	住民の健康づくりの一手法として健康マイレージアプリを導入したことから、次期実施計画においては、その普及及び内容拡充に関し研究・検討する必要があります。

【参考】施策の推進に要したコスト（事務事業）　　（単位：千円）

No.	事業名称	R3	R4	R5	R6	R7	計
1	健康づくり啓発事業	2,165	9,031	3,875	5,560	1,980	22,611
2	任意予防接種費用助成事業	3,841	4,325	4,167	3,722	3,849	19,904
3	骨髄ドナー助成事業	0	0	0	275	0	275
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
合計		6,006	13,356	8,042	9,557	5,829	42,790

後期実施計画（令和３年度～令和７年度）　事務事業評価シート

１．基本情報

総合戦略

事務事業の名称	健康づくり啓発事業	事業番号	121101
担当部署名	福祉保健部　　健康推進課		
政策体系			
基本目標	1 みんなで支え合い、未来につなぐまちづくり		
基本施策	2 地域連携による生涯を通じた健康づくりの推進		
単位施策	1 ライフステージに応じた健康づくりの支援		

２．活動実績

年度	活動実績
R3	○ 7月～9月末までの期間において、健康マイレージ制度を実施し、町民を中心に多くの参加者がありました。（延べ参加人数18,779人） ○ ふらっとウォーキングコースを活用したウォーキング教室を開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。 ○ 運動普及推進協議会が主催するふらっとウォーキングコースを活用したイベントは中止となりました。
R4	○ 12月から新たに運用を開始した健康マイレージ制度アプリに1,405人が参加がありました。 ○ ふらっとウォーキングコースを一部活用したウォーキングとして、「府中ウォーキング2022」（一般参加者…12人、運推…15人）「ファミリーウォーキング教室」（一般参加者…14人、運推…19人）を開催しました。 ○ 運動普及推進協議会が主催するふらっとウォーキングコースを活用したイベントを1回開催しました。（一般参加者…10人、運推…13人） ○ その他にも運動普及推進協議会が主催のウォーキングイベント（4回開催）にはふらっとウォーキングコースを一部入れています。（一般参加者…32人、運推…43人）
R5	○ 健康マイレージ制度アプリで、健康づくりに関する動画の配信を行いました。アプリ利用者の希望で、簡単に作れるレシピや自宅でできるストレッチ、歯科保健等の内容を動画に取り入れました。 ○ 朝パッ君ネットワーク会議で、ふらっとウォーキング事業を利用した「こころの健康づくり研修会」を開催しました。 （一般参加者…46人、運推…5人） ○ 運動普及推進協議会が開催する「楽しく健康づくり活動」で、ふらっとウォーキングコースを活用しました。 （一般参加者…5人、運推…15人） （計４回　一般参加者…44人、運推…55人）
R6	○ 健康マイレージ制度アプリでは、楽しみながら健康づくりに取り組んでもらえるよう、自宅で取り組める運動やレシピ紹介等の動画配信を行いました。 ○ 朝パッ君ネットワーク会議では、ふらっとウォーキングコースの活用方法等について検討しました。 ○ 運動普及推進協議会が主催する「楽しく健康づくり活動」で、ふらっとウォーキングコースを活用しました。（一般参加者…4人、運動普及推進員…11人）
R7	○ 健康マイレージ制度アプリでは、楽しみながら健康づくりに取り組んでもらえるよう、自宅で取り組める運動やレシピ紹介等の動画配信を行いました。 ○ ふらっとウォーキング事業を利用した「ファミリー運動教室」（一般参加者…18人）を開催しました。 ○ 運動普及推進協議会が主催する「楽しく健康づくり活動」で、ふらっとウォーキングコースを活用しました。（一般参加者…79人、運動普及推進員…81人）

３．事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
①	健康づくり活動への参加者数	人	目標値	60,500	62,200	63,800	65,500	67,300
			実績値	55,802	26,809	72,990	36,500	33,047
			達成状況	未達成	未達成	達成	未達成	未達成
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法	健康意識の向上と自主的な健康づくりを促すことが目的のため、健康づくり活動への参加者数を指標としました。							

４．コスト情報（決算）

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
R3	2,165	0	38	0	962	1,165
R4	9,031	6,578	120	0	566	1,767
R5	3,875	0	275	0	962	2,638
R6	5,560	0	74	0	962	4,524
R7	1,980	0	95	0	0	1,885
合計	22,611	6,578	602	0	3,452	11,979

5．評価と対応方針（各課評価）

・分析

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
R3	健康マイレージ制度については例年どおり実施することができましたが、その他の事業は新型コロナウイルス感染症の影響で中止となり、目標は未達成となりました。
R4	健康マイレージ制度はアプリの運用を12月に開始し実施しました。その他の事業は新型コロナウイルス感染症の影響で縮小となり、目標は未達成となりました。
R5	健康マイレージ制度はアプリの運用を令和4年12月開始後、利用者が増加しました。ほかに新型コロナウイルス感染症が5類に移行し諸事業が再開され活動の機会が増え、目標を達成しました。
R6	健康マイレージ制度アプリについてイベント等で周知を行い、利用者数は増加しました。朝パッ君ネットワーク登録団体での活動や事業への参加者数が減少していることから、目標は未達成となりました。
R7	健康マイレージ制度アプリについてイベント等で周知を行い、利用者数は増加しました。朝パッ君ネットワーク登録団体での活動や事業への参加者数が減少していることから、目標は未達成となりました。

・評価及び対応方針

R3	健康マイレージ制度をはじめ、ウォーキングを中心とした健康づくり活動を積極的に取り入れ、目標の達成に向けて取り組みます。
R4	健康マイレージ制度アプリをはじめ、ウォーキングを中心とした健康づくり活動を積極的に取り入れ、目標の達成に向けて取り組みます。
R5	健康マイレージ制度アプリをはじめ、ウォーキングを活用した健康づくり活動等及び事業の周知を引き続き行い、目標の達成に向けて取り組みます。
R6	健康マイレージ制度アプリをはじめ、ふらっとウォーキングコースの活用も含めて多くの人が参加できるような事業を検討し、目標の達成に向けて取り組みます。
R7	健康マイレージ制度アプリをはじめ、ふらっとウォーキングコースの活用も含めて多くの人が参加できるような事業を検討し、目標の達成に向けて取り組みます。

6．評価と対応方針（各部評価）

・分析

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
R3	新型コロナウイルス感染症の影響で、様々な事業が中止となる中、個人で実行できる「健康マイレージ制度」については例年どおり実施することができましたが、全体として目標は未達成となりました。
R4	新型コロナウイルス感染症の影響で、様々な事業が縮小する中、個人で実行できる「健康マイレージ制度」についてはアプリの運用を開始しましたが、開始時期が12月となり、全体として目標は未達成となりました。
R5	新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、様々な事業が再開したことと前年度途中で導入した個人でも実行できる「健康マイレージ制度」のアプリ運用について周知を図り、活動参加者が増加しました。
R6	健康マイレージ制度アプリについてイベント等で周知を行い、利用者数は増加しました。朝パッ君ネットワーク登録団体での活動や事業への参加者数が減少していることから、目標は未達成となりました。
R7	事業指標である健康づくり活動への参加者数は、目標値との乖離、また年度間の変動が多大な結果となっています。 様々な要因が考えられますが、健康マイレージのアプリ化（紙→スマートフォン）が減少に係る一つの要因と特定されます。

・評価及び対応方針

R3	健康マイレージ制度を活用した「ウォーキング事業」を実施することにより、一体的な健康づくり活動に積極的に取り組み、目標の達成を目指します。
R4	健康マイレージ制度を活用した「ウォーキング事業」を実施することにより、一体的な健康づくり活動に積極的に取り組み、目標の達成を目指します。
R5	引き続き健康マイレージアプリの周知を図り、「ふらっとウォーキング」のコースを活用することにより、一体的な健康づくり活動に取り組み、目標の達成を目指します。
R6	引き続き健康マイレージアプリの周知を図り、「ふらっとウォーキング」のコースを活用することにより、一体的な健康づくり活動に取り組み、目標の達成を目指します。
R7	多数の住民が健康づくりへ取り組むにはどのような事業が効果的か、今一度考察する必要があります。 その一環として、健康マイレージアプリの運用方法については、引き続き検討を進めます。

後期実施計画（令和３年度～令和７年度）　事務事業評価シート

１．基本情報

総合戦略

事務事業の名称	任意予防接種費用助成事業	事業番号	121102
担当部署名	福祉保健部　　健康推進課		
政策体系			
基本目標	1	みんなで支え合い、未来につなぐまちづくり	
基本施策	2	地域連携による生涯を通じた健康づくりの推進	
単位施策	1	ライフステージに応じた健康づくりの支援	

２．活動実績

年度	活動実績
R3	○ 感染症を予防するため予防接種の普及・啓発を図るとともに、任意予防接種（おたふくかぜ・成人風しん）対象者の接種費用の一部助成を行いました。 ・おたふくかぜ　助成件数　836件 （対象者数1,017人） ・成人風しん　助成件数　102件
R4	○ 感染症を予防するため予防接種の普及・啓発を図るとともに、任意予防接種（おたふくかぜ・成人風しん）対象者の接種費用の一部助成を行いました。 ・おたふくかぜ　助成件数　957件 （対象者数1,047人） ・成人風しん　助成件数　97件
R5	○ 感染症を予防するための予防接種の普及・啓発を図るとともに、任意予防接種（おたふくかぜ・成人風しん）対象者の接種費用の一部助成を行いました。 ・おたふくかぜ　助成件数　936件 （対象者数1,093人） ・成人風しん　助成件数　77件
R6	○ 感染症を予防するための予防接種の普及・啓発を図るとともに、任意予防接種（おたふくかぜ・成人風しん）対象者の接種費用の一部助成を行いました。 ・おたふくかぜ　助成件数　842件 （対象者数932人） ・成人風しん　助成件数　71件
R7	○ 感染症を予防するための予防接種の普及・啓発を図るとともに、任意予防接種（おたふくかぜ・成人風しん）対象者の接種費用の一部助成を行いました。 ・おたふくかぜ　助成件数　863件 （対象者数939人） ・成人風しん　助成件数　81件

３．事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
①	接種率（おたふくかぜ）	%	目標値	88.0	89.0	89.0	90.0	90.0
			実績値	82.2	90.8	85.6	90.3	91.9
			達成状況	未達成	達成	未達成	達成	達成
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法	感染症予防を図ることが目的のため、接種率を指標としました。							

４．コスト情報（決算）

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
R3	3,841	0	0	0	0	3,841
R4	4,325	0	0	0	0	4,325
R5	4,167	0	0	0	0	4,167
R6	3,722	0	0	0	0	3,722
R7	3,849	0	0	0	0	3,849
合計	19,904	0	0	0	0	19,904

5．評価と対応方針（各課評価）

・分析

	（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）
R3	おたふくかぜの予防接種については、推奨される2回目も接種をしやすいように、今までの1回分の助成から、2回分の一部助成へ拡充を行いました。目標の接種率は未達成でしたが、接種者数は前年度より100人超の増加があり、一定の効果があったと思われます。
R4	対象者への周知として、麻しん風しん混合予防接種2期の個別勧奨通知におたふくかぜ予防接種費用助成のチラシを同封するほか、転入者に対して予防接種券の交付時に助成についての説明を徹底し、目標を達成しました。
R5	対象者への周知として、麻しん風しん混合予防接種2期の個別勧奨通知におたふくかぜ予防接種費用助成のチラシを同封するほか、転入者に対して予防接種券の交付時に助成についての説明を徹底しましたが、目標は達成しませんでした。
R6	対象者への周知として、麻しん風しん混合予防接種2期の個別勧奨通知におたふくかぜ予防接種費用助成のチラシを同封するほか、転入者に対して予防接種券の交付時に助成についての説明を徹底し、目標を達成しました。
R7	対象者への周知として、麻しん風しん混合予防接種2期の個別勧奨通知におたふくかぜ予防接種費用助成のチラシを同封するほか、転入者に対して予防接種券の交付時に助成についての説明を徹底し、目標を達成しました。

・評価及び対応方針

R3	引き続き目標の達成に向け、広報やホームページで周知しながら接種率の向上に努めます。
R4	引き続き目標の達成に向け、対象者への個別通知及びホームページ等で周知を行い接種率の向上に努めます。
R5	引き続き目標の達成に向け、対象者への個別通知及びホームページ等で周知を行い接種率の向上に努めます。
R6	引き続き目標の達成に向け、対象者への個別通知及びホームページ等で周知を行い接種率の向上に努めます。
R7	引き続き目標の達成に向け、対象者への個別通知及びホームページ等で周知を行い接種率の向上に努めます。

6．評価と対応方針（各部評価）

・分析

	（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）
R3	おたふくかぜの予防接種については、推奨される2回目も接種をしやすいように、今までの1回分の助成から、2回分の一部助成へ拡充を行いました。目標の接種率は未達成でしたが、接種者数は前年度より100人超の増加があり、一定の効果があったと思われます。
R4	麻しん風しん混合予防接種2期の個別勧奨通知におたふくかぜ予防接種費用助成のチラシを同封することで、対象者に周知をするほか、転入者に対して予防接種券の交付時に助成についての説明を徹底したことにより目標を達成しました。
R5	対象者への周知方法を定期接種の勧奨通知に同封するなど工夫し、転入者に対しても助成制度について説明を徹底しましたが、予防接種目標の接種率には届きませんでした。
R6	定期接種の勧奨通知に任意の予防接種についてもチラシを同封するなど周知を図り、事業目標を達成しました。
R7	周知方法の工夫により、おたふくかぜの接種率は期間内で最も高い数値となり、事業目標を達成しました。

・評価及び対応方針

R3	引き続き広報やホームページ等を活用し、接種率の向上に努めます。
R4	引き続き広報やホームページ等を活用し、接種率の向上に努めます。
R5	広報やホームページ等を活用して接種による効果を周知するなど、接種率の向上に努めます。
R6	広報やホームページ等を活用して接種による効果を周知するなど、接種率の向上に努めます。
R7	感染症を予防するという、地域社会・地域経済において非常に実益に資する事業であると評価します。

後期実施計画（令和３年度～令和７年度）　事務事業評価シート

１．基本情報

総合戦略	

事務事業の名称	骨髄ドナー助成事業	事業番号	121103
担当部署名	福祉保健部　　健康推進課		
政策体系			
基本目標	1 みんなで支え合い、未来につなぐまちづくり		
基本施策	2 地域連携による生涯を通じた健康づくりの推進		
単位施策	1 ライフステージに応じた健康づくりの支援		

２．活動実績

年度	活動実績
R3	○ 広報ふちゅう10月号及びホームページにより、事業の周知を図りました。
R4	○ 広報ふちゅう10月号及びホームページにより、事業の周知を図りました。
R5	○ 助成金交付対象者に制度を周知するため、チラシの配架及びホームページにより、事業の周知を図りました。
R6	○ 助成金交付対象者に制度を周知するため、チラシの配架及びホームページにより、事業の周知を図りました。
R7	○ 助成金交付対象者に制度を周知するため、チラシの配架及びホームページにより、事業の周知を図りました。

３．事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
①	助成件数	件	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	0	0	0	1	0
			達成状況	未達成	未達成	未達成	達成	未達成
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法	骨髄ドナー等の提供により生じる休業等の経済的負担の軽減が目的であるため、助成件数を指標としました。							

４．コスト情報（決算）

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
R3	0	0	0	0	0	0
R4	0	0	0	0	0	0
R5	0	0	0	0	0	0
R6	275	0	37	0	0	238
R7	0	0	0	0	0	0
合計	275	0	37	0	0	238

5．評価と対応方針（各課評価）

・分析

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

R3	一人でも多くの方に骨髄ドナー登録・骨髄提供にご協力いただけるよう助成を行っています。 目標は達成していませんが、今後も制度の周知・啓発に努めます。
R4	一人でも多くの方に骨髄ドナー登録・骨髄提供にご協力いただけるよう助成を行っています。 目標は達成していませんが、今後も制度の周知・啓発に努めます。
R5	一人でも多くの方に骨髄ドナー登録・骨髄提供にご協力いただけるよう助成を行っています。 目標は達成していませんが、今後も制度の周知・啓発に努めます。
R6	一人でも多くの方に骨髄ドナー登録・骨髄提供にご協力いただけるよう助成を行っています。 目標を達成し、今後も制度の周知・啓発に努めます。
R7	一人でも多くの方に骨髄ドナー登録・骨髄提供にご協力いただけるよう助成を行っています。 目標は達成していませんが、今後も制度の周知・啓発に努めます。

・評価及び対応方針

R3	骨髄ドナーと患者の型が一致する確率は非常に低く、そのためにもより多くの方にドナー登録にご協力いただけるよう、広報やホームページで制度の周知・啓発に努めます。
R4	ドナー登録に協力いただけるよう、骨髄ドナーに関する制度について広報及びホームページで周知・啓発に努めます。
R5	ドナー登録に協力いただけるよう、骨髄ドナーに関する制度について広報及びホームページで周知・啓発に努めます。
R6	ドナー登録に協力いただけるよう、骨髄ドナーに関する制度について広報及びホームページで周知・啓発に努めます。
R7	ドナー登録に協力いただけるよう、骨髄ドナーに関する制度について広報及びホームページで周知・啓発に努めます。

6．評価と対応方針（各部評価）

・分析

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

R3	一人でも多くの方に骨髄ドナー登録・骨髄提供にご協力いただけるよう助成制度を整えています。 目標は未達成ですが、今後も制度の周知・啓発に努めます。
R4	一人でも多くの方に骨髄ドナー登録・骨髄提供にご協力いただけるよう助成制度を整えています。 目標は未達成ですが、今後も制度の周知・啓発に努めます。
R5	一人でも多くの方に骨髄ドナー登録・骨髄提供に協力いただけるよう助成を行っています。 今後も助成制度の周知・啓発に努めます。
R6	一人でも多くの方に骨髄ドナー登録・骨髄提供に協力いただけるよう助成を行っています。 今後も助成制度の周知・啓発に努めます。
R7	助成件数はゼロとなりました。 期間内で1件という実績であり、事業目標は4か年で未達成となりました。

・評価及び対応方針

R3	一人でも多くの方にドナー登録にご協力いただけるよう、骨髄ドナー等に関する正しい理解と制度の周知・啓発について、広報及びホームページを活用しながら努めます。
R4	一人でも多くの方にドナー登録にご協力いただけるよう、骨髄ドナー等に関する正しい理解と制度について、広報及びホームページを活用しながら、周知・啓発に努めます。
R5	骨髄ドナー登録に関心を持っていただくよう、広報及びホームページ等において周知・啓発を図ります。
R6	骨髄ドナー登録に関心を持っていただくよう、広報及びホームページ等において周知・啓発を図ります。
R7	制度設置に意味がある事業である一方、助成件数の増加を図るため、事業内容・周知方法を再考する必要があります。